

令和 8 年度
聖徳大学大学院 博士前期課程
言語文化研究科 日本文化専攻

春学期入学

(令和 7 年 8 月 24 日実施)

< 専門知識 >

受験にあたっての注意

1. 「問題」と「解答用紙(2部)」は、別になっています。
2. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
3. 問題用紙の表紙と、解答用紙各ページの指定欄に「受験番号」、「氏名」を必ず記入してください。
4. 配付された問題用紙、解答用紙は、すべて提出してください。
5. 試験終了後は、答案の回収、確認が全て終わるまで、着席しててください。
6. 携帯電話などの通信機器の電源は切っておいてください。
7. 不正行為のあった場合は、ただちに受験を停止させ、受験を無効にするとともに、その後の受験は認めません。

解答にあたっての注意

1. 解答用紙の()の内に、自分の選択した問題番号を正確に記入して、解答してください。

研究科名	言語文化研究科 日本文化専攻 博士前期課程	受験番号		氏 名	
------	--------------------------	------	--	-----	--

【問題は次のページから】

＜専門知識＞

次の問題 1 から問題 5 の中から、2 題を選んで、論述しなさい。
(1 問につき、解答用紙 1 枚を使用すること。)

- 問題 1 日本文学史の中から、「古典」と評価すべき作品を 1 つ選び、その作品の特徴と現代的な意義について論じなさい。
- 問題 2 日本における仏教の受容について、具体的な事例をあげながら、その特質を論じなさい。
- 問題 3 日本における近代化の過程について、具体的な事例をあげながら、その特質を論じなさい。
- 問題 4 現代日本語における指示詞（コ・ソ・ア）の使い方について説明せよ。
ただし、次のキーワードをそれぞれ一度以上用いること。
キーワード：「人称」「物理的距離」
- 問題 5 日本語教育史上における、ハロルド・E・パーマー（Harold Edward Palmer）の「オーラル・メソッド（Oral Method）」の位置づけについて、説明せよ。